

## 競技注意事項（大会申し合わせ事項）

### 1. 競技規則について

最新の World Para Athletics (WPA) 競技規則及び World Athletics (WA) 競技規則（パラリンピック種目以外）、並びに本大会競技注意事項(大会申し合わせ事項)により実施する

また、参加するすべての競技者に「World Para Athletics 承認競技会における広告規程」（この規程に記されていない広告に関することは WA 規程に準ずる）が適用させる。基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨了解のこと

大会期間中における競技開始前の本競技場での練習においても同様とする

注) 日本パラ陸上競技連盟が主催または後援する国内大会 (WPA 公認大会含む) においては、WA、WPA どちらの広告規程でも可とする

最新の競技規則を把握するのは出場する競技者の義務である。最新の競技規則は日本パラ陸上競技連盟のホームページで必ず確認すること

<http://jaafd.org/sports/basic-knowledge#rule>

### 2. 受付について

- ① 競技者受付は、競技場正面玄関入り口前に設置する

18日(金) 前日受付 14:00~16:00

19日(土)・20日(日) 8:00~

### 3. 練習会場について

18日(金)	<b>●競技場および補助競技場の練習は不可である</b> <b>※使用可能な場合は、JPA ホームページにて告知する</b>
19日(土)・20日(日) 8:00 ~	<b>【補助競技場】</b> 直線11レーン、周回6レーン(コーンを配置し使用エリアをコントロール) ①1~3レーン:長距離選手、4~:それ以外の選手 ②ハンマー投と円盤投は練習不可 ③やり投は時間とエリアを限定した上で芝生内での練習を認める ④砲丸投は専用練習場所のみ可能 ⑤跳躍はピットでの練習が可能  <b>【雨天練習場(バックスタンド下)】</b> 走練習のみ可能

- ① 練習及びウォームアップ中は、競技役員の指示に従い、事故のないよう十分に注意すること

- ② 投てき種目については、競技開始前、最低2度の練習試技を保証する

#### 4. 各種書類の配布および提出について

##### ・TIC(テクニカルインフォメーションセンター) 中央エントランスに設置

配布・提出先	様式	提出締め切り時刻	備考
TIC	リクエスト・フォーム(ルール外のアシスタント入場依頼など)	当該種目の招集開始時刻1時間前まで。	提出後、必ず TD(または審判長)の裁定結果を確認のうえ、コールルームおよび競技エリアに持参すること。
	ガイドランナー変更届		
	ガイドランナー交代ポイント申請書		
	投てき用具検査申請書		
	欠場届		会場にお越しいただけない場合 日本パラ陸連 Email:まで提出すること <a href="mailto:entry@para-ath.org">entry@para-ath.org</a> 欠場届が提出されず招集時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとす。この場合、次の種目からの出場はできない。
	上訴申立書	抗議による審判長等の裁定後、30分以内。	委託金(2万円)を添えて提出すること。
	プログラム訂正用紙	競技会の各日競技開始時刻1時間前まで。	

##### ・招集所 本競技場第2ゲート付近

配布・提出先	様式	提出締め切り時刻	備考
招集所	多種目重複出場届	最初に出場する種目の招集開始時刻まで。	競技種目が重なり、一方の種目の招集完了時刻に間に合わない場合は、重複出場届を提出し、直接競技場所に集合すること。その際当該種目の審判にその事を伝え、審判の指示に従うこと。
	設置依頼書(スタブ口、マーカー)	当該種目の招集開始時刻1時間前まで。	競技者は設置依頼書を提出することにより、競技者に代わり競技役員が設置することができる。 「スターティングブロック」 T12、T20、T35-38、T40-47、T61-64、T71-72 「マーカー」 T/F20、T/F35-38、T/F42-47、T/F61-64
	競技者・ガイドランナー使用レーン申告書	当該種目の第1組 招集完了時刻の1時間前まで。	SIS 使用時のみ
	リレーオーダー用紙	招集完了時刻の1時間前まで	

#### 5. 招集について

- ① 招集所は本競技場の第2ゲート付近に設ける
- ② 招集の方法は、下記の招集開始時刻に招集所に集合し、審判員からチェックを受ける

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の30分前	15分前
フィールド競技	競技開始時刻の40分前	30分前

- ③ 招集所ではアスリートビブス(胸・背)、腰ナンバー標識、スパイク、衣類・バックなどの商標チェックを受けること。また、携帯電話等の機器は競技場内に持ち込むことはできない。持ち込み禁止物は招集所で預かり、「TIC」で返却する
- ④ シューズ袋など類似品の多いものについては記名や目印をつける等、他者の持ちものと取り違えることのないよう、注意すること。なお、競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場で行うこと
- ⑤ 代理人による招集は一切認めない。欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を「TIC」に提出すること。欠場届が提出されず招集時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとす

- ⑥ 競技種目が重なり一方の種目の招集完了時刻に間に合わない場合は、「重複出場届」を「招集所」に提出し、直接競技場所に集合すること。その際、当該種目の審判にその旨を伝え、審判の指示に従うこと
- ⑦ 「リレー・オーダー用紙」は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。なお、提出後の変更については、招集完了時刻までに、総務・医務係の判断がない限り認められない(出場する競技者の変更のみが認められ、編成(走る順番)の変更は認められないので注意)
- ⑧ リレー競技においては、出場する4名が揃って招集を済ませ、チームとして同一のユニフォームを着用すること

## 6. アスリートビブスについて (ナンバーカード)

- ① アスリートビブスは、1名につき2枚配布する(胸・背用)
- ② アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでもよい
- ③トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を両サイドの腰に確実に付けること

## 7. 競技エリアへの入退場について

- ① 競技エリアへの入場はADカード携行者のみ認められる
- ② 招集所から競技エリアへの入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示による
- ③ 退場はフィールド種目も含め全員ミックスゾーン(100mフィニッシュ横付近に設置)を通過すること

## 8. 競技について

- ① 招集完了後は練習を含めすべて競技役員の指示に従うこと
- ② 本競技場は全天候舗装であるため、スパイクのピンは11本以内、長さは9mm(走高跳・やり投は、12mm)を超えてはならない。また、スパイクの直径は先端近く(少なくとも長さの半分)で4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない
- ③ IPC ライセンス登録及び国際クラス分けが終了し、ステータスがCまたはRの競技者は、そのクラスで行った競技の記録がWPAランキングの対象となる。なおWPA世界記録/アジア記録の対象となるのは国際クラス分けステータスがC またはR(FRD2024以降)の競技者のみである。但し、スタート・インフォメーション・システム(SIS)を使用しないため、スターティング・ブロックの使用が必須のクラスにおいては、WR(世界記録)・AR(アジア記録)が認められないが、世界ランキングの対象にはなる。及び、virtus 種目については、virtus 登録完了者は世界記録が認められる。日本記録の公認についても同様とするが、国内クラス分けしか持たない者は、先述の「国際クラス分け」を「国内クラス分け」と読み替える
- ④ WPA世界記録及びアジア記録対象者には(\*)を、virtus世界記録対象者には(v)をスタートリストに記している
- ⑤ 予備予選を実施する
  - i 知的障がい選手権クラスの100m(男)、200m(男)、400m(男)において予備予選を実施する
  - ii 予備予選におけるタイムレースで上位6名が予選に出場できる
- ⑥ トラック競技
  - i. 参加人数により、予選を行わない場合がある
  - ii. レーン順は、プログラム記載順による
  - iii. タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者があった場合、写

真判定主任は0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする

- iv. 短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走る事
- v. 参加標準記録を大幅に超える時間を要するレース等、プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させる場合がある
- vi. 警告を2回受けた競技者は失格とし、本大会における以後のすべての種目に出場できなくなる
- vii. 競技運営・進行上、下記の種目において制限タイムを設ける

	クラス	ゴール制限タイム
男子3000mSC	選手権	13分00秒
男子5000m	選手権	20分00秒
女子5000m	選手権	26分00秒
男子10000m	選手権	40分00秒

※ 制限時間は号砲で知らせる。競技の途中であっても号砲が鳴った時点で競技を中止し、選手はすみやかにコース外に出ること

#### ⑦ スタート

- i. スタートの合図はすべて英語(「on your marks」「set」)で行う
- ii. トラック競技はすべて写真判定システムを使用する
- iii. 1回目の不正スタートで失格となる

#### ⑧ 補助申請

- i. T12(視覚障がい)、T20(知的障がい:ダウン症含む)、T35-38(脳原生麻痺)、T40-47(切断・機能障がい)、T61-64(下肢切断)のトラック競技においては、招集時に「**スターティング・ブロック設置申請**」を「**招集所**」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができる
- ii. T/F20(知的障がい:ダウン症含む)、T/F35-38(脳原生麻痺)、T/F42-47(切断・機能障がい)、T/F61-64(下肢切断)の走幅跳、三段跳およびやり投においては、「**マーカー設置申請**」を「**招集所**」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができる

#### ⑨ フィールド競技

- i. 走高跳において、練習の高さ、競技開始の高さ及び競技開始後の上げ方については、競技役員と競技者が相談のうえ決定する
- ii. T20(ダウン症を含む)のフィールド競技において、後半3回の試技順は前半3回までの試技で記録した成績の低い順とする。パラ陸上競技記録会クラスについては、3回のみ試技とする
- iii. フィールド競技が行われる近接のスタンドには「**コーチングエリア**」を設ける
- iv. 男子三段跳の踏切位置は9m 1ピットのみとする

### 9. ダウン症を伴う競技者の介助について

「全国障害者スポーツ大会競技規則 陸上競技 第6条 助力」に則り、介助者による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた競技者は失格とする

＜競技規則の解説 陸上競技 第5節 介助者の役割 一部抜粋＞

「スポーツへの参加を通じた社会参加の推進という目的を踏まえ、原則として競技者自身が一人で行動できるように指導・助言頂いているところである。介助者は、衣服の脱着や移動等において競技者

が困難を要する事柄に限り介助することができる」

障害の種類や程度等の理由により介助者による補助や指示がどうしても必要な競技者については、上記内容を理解した上で、「リクエストフォーム」にその旨を記入し「TIC」に提出すること。主催者に受理された場合は、主催者側で用意したビブスを着用し、介助にあたることができる。その際、競技エリアで、競技役員の指示に従うこと

## 10. 競技用具について

- ① 競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない
- ② 投てき用具については、原則として競技場備え付けの用具を使用する。ただし、競技場備え付け投てき用具リストにないもの、個数が1個のものは、1人上限2個まで、WA認証品で技術総務の検査に合格したものに限り持ち込みを認める。ただし、当該用具は主催者で借り上げ、参加競技者全員が使用できるものとする
- ③ 投てき用具の持ち込みを希望する競技者は、当該種目の招集開始90分前までに「TIC」に「投てき用具検査申請書」とともに投てき用具を提出すること。受け付けた投てき用具については「預り証」を発行する。受け付けた投てき用具は、競技終了後、預り証と引き換えに「TIC」で返却する
- ④ 投てき競技に参加する競技者でタンマグなどの滑り止めは競技場備え付けのものを使用する

## 11. ドーピング・コントロール・テストについて

- ① 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である
- ② 本大会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす
- ③ 本大会参加者で18歳未満の者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできる
- ④ 18歳未満の競技者がドーピングの対象になった際には、親権者の署名が記載された当該検査員に提出すること。親権者の同意書の提出は、18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象になった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書が提出できなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする
- ⑤ ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、ドーピング検査員の指示に従ってテストを受ける。テストを受ける競技者は付き添いを付ける事ができるので、希望する競技者は連絡先（携帯電話など）を事前に準備しておくこと
- ⑥ 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること
- ⑦ 本大会・大会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること
- ⑧ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること

## 12. 抗議と上訴について

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できる。競技後の抗議は、記録の公式発表から30分(大型スクリーン表示時刻を基準とする)以内に競技者自身または代理人が TIC に口頭で申し出る。抗議は審判長が判定し、TIC を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金(2万円)を添え、TIC を通じてジュリー(上訴審判)に申し立てを行うこと

## 13. 表彰について

【知的障がい選手権クラス】と【ダウン症クラス】については、男女別種目別に1位から3位の選手に賞状を授与する。ただし、エントリーが2名までの場合は1位のみ、3名までの場合は2位まで授与する。表彰式は行わないので選手受付で受け取ること

## 14. 一般注意事項について

- ① AD コントロールを実施するので、配付した AD カードは常に携帯すること
- ② トレーナーブースは開設しない(尚、パラ種目の強化指定選手のみトレーナーブースを開設)
- ③ プログラムに誤記がある場合は、すみやかに TIC に申し出ること(用紙は TIC に置く)
- ④ 悪天により競技を一部中断もしくは中止することがある
- ⑤ 各種目の世界記録およびアジア記録については、令和6年9月27日時点で World para Athletics ウェブサイト並びに Virtus ウェブサイトに掲載されている記録を引用したものである
- ⑥ 撮影について: 悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限る
  - 1) 競技会運営本部より許可され、腕章またはピブスを付けたカメラマン
  - 2) 競技会出場学校、クラブ等の関係者や当該競技者の保護者、家族等
  - 3) 競技会事務局また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできない。なお、場合によっては上記に該当するか確認することがある
- ⑦ 大会期間中撮影した画像・映像は、各社メディアおよび協賛社の広報、またその他パラ陸上競技普及に関する広報に使用することがある
- ⑧ 競技結果は正面玄関入口に、番組編成リストは招集所入口に掲示する。また、速報サイトにも掲載する
- ⑨ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。競技会では応急処置のみとする。参加にあたっては自己の責任において健康と安全に十分留意すること。競技者には、主催者がスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある
- ⑩ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営および競技場側を通じて行うものとする
- ⑪ 競技場
  - i. 競技場の関係者入口の開門について、1日目、2日目ともに7:30とする
  - ii. 競技場の観客席入口の開門について、1日目、2日目ともに8:00とする
  - iii. 貴重品及び荷物は各自で管理すること。万一の事故があっても責任は負わない
  - iv. 競技会場における広告及び展示物に関する規程にもとづき、スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めない
  - v. 届けられた遺失物は TIC で保管する。なお、保管期間は競技終了までとする
  - vi. 競技場の環境美化活動にご協力いただき、ゴミは各自で持ち帰ること

vii. 競技場及び競技会で使用できる施設以外への立ち入りをしないこと

⑫ 更衣室など

- i. 選手更衣室は、本競技場1階(100m スタート側)のため、利用の際は第4ゲートを使用すること
- ii. 使用後は環境美化活動にご協力いただき、ゴミは各自で持ち帰ること

⑬ 靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない。ただし、障がい特性により医療目的の中敷きが無くては競技が困難な競技者は、TIC にリクエストフォームを提出し許可を得ること

【靴底の厚さ】

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5)に基づく)	補足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。

【投てき用具一覧】

種別	品番	名称・規格	製造元	数量
砲丸 7. 260kg	F251	鉄製 φ125. 5	NISHI	8
	F251C	鉄製 φ129	NISHI	2
	F251A	鉄製 φ120	NISHI	2
砲丸 5. 000kg	F292B	鉄製 φ110	NISHI	12
砲丸 4. 000kg	F253	鉄製 φ103	NISHI	8
	F253C	鉄製 φ109	NISHI	4
砲丸 3. 000kg	I -12-0571	鉄製 φ109	NISHI	2

種別	品番	名称・規格	製造元	数量
円盤 2. 0kg	F301B	スーパー φ220.5	NISHI	6
	F331A	スーパーハイモーメント φ220.5	NISHI	6
円盤 1. 0kg	F303B	スーパー φ181.5	NISHI	2
	F333A	スーパーハイモーメント φ181.5	NISHI	6
	NC718	ペーサーFX カーボン φ181	GILL	2
	C742	ユルゲンシュルツ φ181	DENFI	2

種別	品番	名称・規格	製造元	数量
ハンマー 7.260kg	NF203	タングステン φ110	NISHI	4
	NF202	ダグタイル φ116.5	NISHI	8

種別	品番	名称・規格	製造元	数量
やり 800g	F453E	スーパーDR80m	NISHI	4
	F454E	ロング DR70m	NISHI	2
	F455E	ミディアム DR60m	NISHI	1
	NF458	ハイブリッドゲノム X	NISHI	2
	F456	ハイブリッドウイング	NISHI	1
	NC762A	チャンピオンスティール flex6.4	NORDIC	1
	NC760A	エアライダーflex6.1	NORDIC	1
	NC761A	オービット flex6.6	NORDIC	1
	NC763A	スーパーエリート 800flex6.8	NORDIC	3
	NC764A	スーパーエリートクラシック flex7.0	NORDIC	2
	NC765A	マスター800flex7.5	NORDIC	1
	NC827	クラシック 95m	NEMETH	1
	NC828	クラシック 90m	NEMETH	5
	NC829	クラシック 85m	NEMETH	3
やり 600g	F463F	スーパーDR70m	NISHI	4
	F464F	ロング DR60m	NISHI	2
	F465F	ミディアム DR50m	NISHI	2
	NF466	ハイブリッドゲノム X	NISHI	2
	F462	ハイブリッドウイング	NISHI	1
	NC773D	ダイアナクラシック flex7.2	NORDIC	2
	NC773E	ダイアナ NXSflex	NORDIC	1
	NC774D	ダイアナクラシック flex7.7	NORDIC	1
	NC775D	スーパーエリート 600flex7.0	NORDIC	2
	NC835C	クラシック 80m	NEMETH	3
	NC836C	クラシック 75m	NEMETH	3
	やり 400g	NC603A	バイキング 400flex11.9	NISHI